

神戸大学学報

No. 482

1996.11 庶務部庶務課発行



関西学生卓球大会優勝旗と卓球部員（大正15年）

目

次

◇学内ニュース 2	◇学事 12
・大学教育研究センター第4回研究集会の開催	・平成8年度科学研究費補助金（追加採択分）の交付内定
・第27回神戸大学公開講座の実施	・平成8年9月卒業生数調
・平成8年度農学部附属農場「収穫祭」の実施	・平成8年度前期大学院修了者数調
・平成8年度公務員レクリエーション共同行事	・平成9年度大学院入学試験合格者数調
神戸地区「卓球大会」の実施	
◇法令 3	◇掲示板 16
・省令 ・告示	・スキー用具の貸出し
◇人事 3	・職員住所変更等 ・日誌 ・訂正
・異動 ・各種委員会委員の異動	◇神戸大学100年史編集室だより 17
・研修 ・海外渡航	

学内ニュース

◇大学教育研究センター第4回研究集会の開催

大学教育研究センター主催の「研究集会」を、10月8日日本センター新講義棟K棟の教室において開催しました。

平成5年度から実施しているもので、今回は学内の教員を主とする約50名の参加を得て「大学人のライフコースを考えるーキャリア・ステージに応じたFDプログラムの構築に向けてー」をテーマに開催しました。

集会は、学長の挨拶で始まり、梶田毅一京都大学高等教育教授システム開発センター教授の「大学人のライフコースを考える」と題した基調講演が行われた後、「助教授 イン クライシス？」と題して川嶋太津夫本センター助教授、「若手大学教員として、女性研究者として」と題して山下京大阪大学人間科学部助手、「情報化社会における生涯学習と大学制度・大学人」と題して濱田隆士放送大学教授の講演が行われました。

最後に講演内容等に関して活発な意見交換が行われ、今回のテーマに対する関心の高さが感じられました。



ー大学教育研究センターー

◇第27回神戸大学公開講座の実施

第27回神戸大学公開講座を9月7日(土)から10月26日(土)まで毎週土曜日の8日間にわたり、工学部LR 501教室において、市民一般・学生を対象に「復興から飛躍へー兵庫県南部地震に関する学際的研究からー」をメインテーマに、16講義を実施しました。10月26日(土)には閉講式を行い、受講者282名のうち、241名に修了証書を授与しました。



ー庶務課ー

◇平成8年度農学部附属農場「収穫祭」の実施

平成8年度「収穫祭」を、10月30日(水)午前11時30分から附属農場において行いました。

「収穫祭」は、今年の収穫が無事に終わったことを祝い、田畑の神に感謝する農事の節目となるもので、附属農場恒例の祭事となっています。

当日はさわやかな秋空のもと、小林副学長をはじめ、事務局、農学部及び附属農場の教職員約50人が出席し、最初に、「稲刈りの儀式」を執り行った後、今年の豊作を祝い、なごやかに歓談しました。

また、アトラクションとして、農場で採れた「ジャンボかぼちゃ」3個の総重量(97kg)を当てるクイズに全員で挑戦しました。



ー附属農場ー

◇平成8年度公務員レクリエーション共同行事神戸地区「卓球大会」の実施

神戸地区の官庁職員が相互の親睦を図ることを目的として開催しているレクリエーション行事の「卓球大会」が下記のとおり実施され、熱戦が繰り広げられました。

実施日 10月30日(水)
場 所 兵庫県職員会館

参加機関等 7機関8チーム(本学から1チーム5名)
成績 準優勝 神戸大学
内田 修一(国際文化学部)
山口三十四(経済学部)
藤井 勝宏(工学部)
橋本 誠(医学部附属病院)
古東 正宜(")
ー人事課ー

法令

◇省令

文部省令第35号 国立学校における授業料その他の費用に関する省令の一部を改正する省令
(平成8年11月1日付官報)

◇告示

文部省告示第163号 大学入学に関し専修学校高等課程について文部大臣が個別に指定した件
(平成8年10月11日付官報)

文部省告示第164号 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその名称を平成7年4月1日から変更した件
(平成8年10月11日付官報)

文部省告示第165号 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程について、その名称を平成8年4月1日から変更した件
(平成8年10月11日付官報)

文部省告示第166号 大学入学に関し文部大臣が個別に指定した専修学校高等課程についてその課程を平成8年3月31日をもって廃止した件
(平成8年10月11日付官報)

人事

◇異動

所属部局 官 職	氏 名	発令 月 日	異 動 内 容 (異動前の所属官職)
事務局 [庶務部] (留学生課)	小 山 晶 子	10.19	10月18日限り任期満了退職(事務補佐員)
事務補佐員	天 野 絵 里 子	10.21	採用
理 学 部			
助 手	高 木 秀 樹	10.16	採用
医 学 部			
	生 越 ま ち 子	10. 9	辞職(助手)
	村 津 裕 嗣	10.15	" (")
	伊 藤 彰 彦	10.16	出向[大阪大学医学部助手](助手)
教 授	丸 尾 猛	11. 1	昇任(助教授)
講 師	伊 東 恭 子	"	採用
助 手	杉 浦 麗 子	"	"
(管理課)			
文部事務官	横 山 昌 史	10.16	転任(兵庫教育大学総務部庶務課)
(医事課)			
	阪 本 尚 樹	10.31	辞職(文部事務官)
医 学 部 附 属 病 院			
	房 正 規	10.31	辞職(助手)
教 授	佐 古 正 雄	11. 1	昇任(助教授)
助 手	田 中 佳 秋	"	採用
産科婦人科長	丸 尾 猛	"	併任(医学部教授)
医学部教授	守 殿 貞 夫	"	併任解除(産科婦人科長)
産科婦人科 外 来 医 長	山 辺 晋 吾	"	命(医学部助手)
医学部助手	武 内 享 介	"	免(産科婦人科外来医長)
(看護部)			
助 産 婦	大久保 千 鶴	"	配置換(看護婦)

◇海外渡航

所属	職名	氏名	渡航先	渡航目的	渡航期間	備考
文学部	教授	北原 淳	タイ	タイ国における東南アジア研究の方法と組織に関する研究のため	8.10.12 ~ 8.10.21	出張
"	助教授	渥美 公秀	フィリピン	「災害と保健に関する国際シンポジウム」参加のため	8.10.15 ~ 8.10.19	"
国際文化学部	"	中野 聡	韓国	韓国アメリカ学会主催国際セミナー出席、報告	8.10.17 ~ 8.10.22	研修
"	教授	風呂本武敏	"	韓国イエイツ学会講演のため	8.10. 3 ~ 8.10. 6	"
"	"	西垣 勤	"	東亜大学校国際学術発表会での講演ならびに文学に関する資料収集のため	8.10.29 ~ 8.11. 3	"
発達科学部	講師	澤 宗則	インド タイ	インドにおける工業化の新展開と地域構造の変容に関する調査	8.10.27 ~ 8.12. 5	出張
"	助教授	稲垣 成哲	オーストラリア	環太平洋諸国の子ども・学校・社会における科学観の形成に関する調査研究	8.10.12 ~ 8.10.19	"
"	"	青木 茂樹	アメリカ	陽子・反陽子衝突型加速器を用いる実験	8.10.21 ~ 8.10.28	"
"	"	中林 稔堯	スウェーデン イタリア	スウェーデンおよびイタリアにおけるノーマライゼーションに関する調査	8.10.27 ~ 8.11. 7	研修
経済学部	教授	加藤 弘之	中国	「中国の内陸開発戦略と発展の波及メカニズムについての研究」に関する調査及び資料収集	8.10.22 ~ 8.11. 5	出張
"	"	田中 康秀	カナダ	J S A Cコンファレンスでの共同報告のため	8.10. 2 ~ 8.10. 8	研修
経営学部	助教授	國部 克彦	イギリス	シェフィールド大学でのセミナー報告及び共同研究打合せのため	8.10. 7 ~ 8.10.18	出張
"	"	佐々木 弘	フィンランド ノルウェー スウェーデン	平成8年度経済企画庁物価局委託調査「公共料金関連事業における効率性指標の開発に関する調査Ⅲ」のため	8.10. 1 ~ 8.10.10	"
"	"	黒田 全紀	ドイツ	ドイツ経営専門家第50回大会、ワークショップに出席・報告及び資料収集	8.10. 4 ~ 8.10.15	"
"	講師	高橋 悦夫	オーストラリア	平成8年度日本留学フェア(豪州)の参加	8.10.15 ~ 8.10.20	"
"	教授	黒田 全紀	ドイツ	ドイツ経営専門家第50回大会、ワークショップに出席・報告及び資料収集	8.10. 4 ~ 8.10.15	"
"	"	奥林 康司	スペイン イギリス	「ヨーロッパにおける経営者教育」と題する国際会議に出席・報告及び資料収集	8.10.17 ~ 8.10.26	研修

経営学部	助教授	岡部 孝好	カナダ	アジア太平洋国際会計問題会議出席のため	8.10.11 ~ 8.10.16	研修
"	教授	加登 豊	イタリア フランス アメリカ	共同研究打合せ, European Institute of Advanced Study for Management (EIASM) 及びアメリカ会計学会管理会計部会における報告	8.10.22 ~ 8.11. 5	"
"	"	吉田 順一	アメリカ	アメリカのマーケティング及び流通の視察・調査のため	8.10.23 ~ 8.11. 3	"
理学部	助教授	増田 嘉孝	中国	希土類調査と研究交換のため	8.10. 6 ~ 8.10.13	"
医学部	教授	伊東 宏	韓国	肝疾患における日韓共通プロトコールの使用についての研究交換	8.10. 2 ~ 8.10. 4	出張
"	"	佐藤 茂秋	フィリピン	癌予防と制圧のためのワーキンググループ会議出席	8.10. 6 ~ 8.10.10	"
"	"	市橋 正光	中国	第5回日本-中国合同皮膚科学術会議	8.10. 8 ~ 8.10.12	"
"	"	中村 肇	"	人乳由来蛋白成分日中共同研究報告会出席のため	8.10. 9 ~ 8.10.11	"
"	助手	中山 伸一	インドネシア	第3回救急災害学アジア太平洋会議出席のため	8.10.13 ~ 8.10.18	"
"	看護婦	原 麻由美	アメリカ	アメリカにおける臓器移植前・後の看護の実態についての調査及び資料収集	8.10.13 ~ 8.12.11	"
"	教授	新福 尚隆	フィリピン	セミナー出席および研究者交流実施のため	8.10.14 ~ 8.10.24	"
"	"	龍野 嘉紹	"	災害と保健に関する国際シンポジウム出席	8.10.15 ~ 8.10.19	"
"	"	熊谷 俊一	アメリカ	アメリカリウマチ学会第60回国際会議出席	8.10.18 ~ 8.10.23	"
"	講師	長嶋 達也	"	第10回国際脳浮腫学会発表及び脳神経外科学に関する研究交換のため	8.10.19 ~ 8.10.26	"
"	教授	島田 桂吉	中国	上海第二医科大学顎・顔面・口腔外科学会議出席及び当該領域における研究交換	8.10.21 ~ 8.10.25	"
"	看護部長	高谷 嘉枝	イギリス フランス	諸外国の大学病院、関連教育病院等の実地視察及び看護部の組織、看護管理、病院経営等についての調査	8.10.23 ~ 8.11. 1	"
"	講師	宮本 正喜	アメリカ	1996年度アメリカ医療情報学会出席及び医療情報学に関する研究交換	"	"

医学部	助教授	谷川原祐介	アメリカ	第10回米国薬学会出席及び臨床薬理学に関する研究交換	8.10.24 } 8.11. 2	出張
"	薬剤師	駒田富佐夫	"	"	8.10.26 } 8.11. 3	"
"	助教授	丸尾 猛	"	国際生殖医学委員会出席及び産婦人科学に関する研究交換のため	8.10.27 } 8.10.31	"
"	教授	松尾 雅文	"	第46回アメリカ人類遺伝学会に参加及び研究討議のため	8.10.29 } 8.11. 4	"
"	"	市橋 正光	"	第16回国際色素細胞学会出席	"	"
"	助教授	上田 正登	"	"	"	"
"	教授	伊東 宏	中国	肝臓病学に関する研究交換のため	8.10.31 } 8.11. 3	"
"	"	石川 雄一	フィリピン	「災害と保健に関する国際シンポジウム」参加のため	8.10.15 } 8.10.19	"
"	"	久間 圭子	"	"	"	"
"	"	多淵 芳樹	フランス	癌診断の生物科学技術と予後因子に関する第3回国際シンポジウムにおける発表と研究交換	8.10.24 } 8.10.31	"
"	"	塩澤 俊一	アメリカ	遺伝子導入・欠損マウスによる細胞外マトリックス代謝に関する研究打合せ及び第60回アメリカリウマチ学会出席のため	8.10.12 } 8.10.24	"
"	"	春日 雅人	カナダ	インスリン発見75周年を祝ってのシンポジウム	8.10. 6 } 8.10.11	研修
"	"	中井 久夫	アメリカ	ケース・ウェスタン・リザーヴ大学グレン・クレイグ・ディヴィス教授を中心とするストレス障害研究ネットワークとの討論, 意見交換, 共同研究推進のため	8.10. 6 } 8.10.14	"
"	講師	堀川 達弥	"	第16回国際色素細胞学会出席及び白斑ならびに皮膚免疫に関する研究	8.10.29 } 9. 1. 4	"
"	教授	山口三千夫	"	第10回国際脳学腫シンポジウム出席のため	8.10.19 } 8.10.25	"
"	"	新道 幸恵	インドネシア	第3回アジアパシフィック救急災害医学会参加のため	8.10.13 } 8.10.18	"
"	助教授	平田総一郎	アメリカ	第60回アメリカリウマチ学会参加のため	8.10.19 } 8.10.24	"

医学部	助教授	片岡 万里	フィリピン	国際GOL学会への参加およびハンセン病施設の訪問・資料収集のため	8.10.21 } 8.10.27	研修
"	教授	安藤 啓司	中国	肝臓の病態生理に関する協同研究打合せのため	8.10.31 } 8.11. 3	"
工学部	助教授	賀谷 信幸	"	国際宇宙航空連盟総会及びSpace Power 委員会出席	8.10. 6 } 8.10.12	出張
"	助手	末包 伸吾	イタリア	ワシントン大学ローマ分校との交流(学生交流に関する視察・情報交換・討議・資料収集を行う)	8.10.25 } 8.11. 9	"
"	教授	大久保政芳	中国	第1回乳重合と機能性高分子微粒子に関するアジア討論会に出席	8.10. 5 } 8.10.12	"
"	助教授	富山 明男	イタリア スロベニア	二相流ダイナミクスに関する共同研究及び研究資料収集	8.10. 3 } 8.10.15	"
"	教授	片岡 邦夫	中国	輸送現象の研究調査と学術交流に関する意見交換	8.10.27 } 8.11. 1	"
"	"	高田 至郎	アメリカ	地震後の復旧・復興に関する研究資料収集	8.10. 5 } 8.10.10	"
"	"	高森 年	中国	1996年IEEEシステム・人間・サイバネティクスに関する国際会議出席及び研究資料収集	8.10.12 } 8.10.23	"
"	助教授	近藤 昭彦	アメリカ	地震後の復旧・復興に関する研究資料収集	8.10.19 } 8.10.27	"
"	教授	中島 健	韓国	第3回日韓熱工学会議出席及び研究資料収集	8.10.18 } 8.10.24	"
"	"	藤井 照重	"	"	8.10.20 } 8.10.24	"
"	"	赤澤 堅造	オランダ	第11回国際電気生理学運動学会及び第18回IEEE医用生体国際会議に出席し資料収集を行う	8.10.26 } 8.11. 5	"
"	助手	内山 孝憲	"	第18回IEEE医用生体国際会議出席	8.10.30 } 8.11. 5	"
"	"	田島 敬史	カナダ オランダ	オブジェクト指向プログラミングシステム, 言語, 応用に関する国際会議出席及び資料収集	8.10. 2 } 8.10.12	"
"	教授	藤井 進	韓国	太平洋生産会議出席及び研究資料収集	8.10.28 } 8.10.31	"
"	助教授	社本 英二	"	論文博士号取得希望者に対する協力研究指導を行う	8.10.23 } 8.10.29	"
"	"	吉田 正樹	オランダ ポーランド	第11回国際電気生理学運動学会, 第18回IEEE医用生体国際会議及び第2回日本ポーランド医用電子生体工学セミナーに出席	8.10.26 } 8.11.11	"

工学部	教授	櫻井 春輔	中国	岩盤工学に関する研究交換	8.10.20 } 8.11.4	出張
"	助手	浅野 等	韓国	日韓熱工学会議出席	8.10.20 } 8.10.24	研修
"	"	小川 和彦	アメリカ	国際計測制御学会出席	8.10.7 } 8.10.12	"
"	教授	多淵 敏樹	韓国	都市景観に関する研究打合せ	8.10.25 } 8.10.30	"
"	"	高田 至郎	イタリア ギリシャ	耐震構造国際シンポジウム	8.10.25 } 8.11.2	"
"	"	上田 完次	オーストリア	第7回DAAAM国際会議出席及び 地震防災に関する資料収集	8.10.15 } 8.10.20	"
"	"	羽根田博正	アメリカ	1996年度I E E E画像化会議出席及 び計算機処理工学に関する研究調査	8.10.30 } 8.11.9	"
農学部	"	西川 勲	オランダ, オーストリア スペイン, フランス イギリス	乳製品に関する技術調査及び酪農科 学に関する研究交換	8.10.15 } 8.10.31	出張
"	"	中村 千春	台湾	第5回国際イネ分子生物学会出席お よび講演発表	8.10.12 } 8.10.17	"
"	助手	森 直樹	"	"	"	"
自然科学 研究科	教授	田中 克己	カナダ	マルチメディア教育及びソフト開発 に関する資料収集のため	8.10.2 } 8.10.6	"
"	"	薦原 道久	中国	数値流体力学における研究交換及び 資料収集	8.10.13 } 8.10.20	"
"	助手	長束 優子	オーストラリア	S-RNaseの立体構造と機能の解析 に関する研究打合せのため	8.10.30 } 8.11.5	"
国際協力 研究科	教授	松永 宣明	中国	科学研究費補助金・国際学術研究 「中国の内陸開発戦略と発展の波及 メカニズムについての研究」の調査 のため	8.10.22 } 8.11.5	"
"	助教授	陳 光輝	"	"	"	"
"	教授	土屋 英雄	インドネシア	インドネシアの法律事情の調査のた め	8.10.29 } 8.11.6	"
"	助手	川畑 康治	タイ ラオス	East Asian Economic Association 年次大会に出席及びラオス経済の調 査のため	8.10.23 } 8.11.2	研修
"	教授	芹田健太郎	中国	中国社会科学院招請による学術交流 のため	8.10.6 } 8.10.20	"

経済経営 研究所	教授	阿部 茂行	中国	中国及びアジア太平洋地区の経済発 展に関する国際会議に出席し、「日 本と中国の貿易・投資の展開」につ いて報告するため	8.10.2 } 8.10.9	出張
"	助手	ホワイト リチャード スティーブン	アメリカ	「中国における直接投資と企業能力 の開発」のプロジェクトに関する資 料調査, 企業訪問及びプロジェクト の打合せ	8.10.15 } 8.11.4	"
"	助教授	延岡健太郎	韓国	ソウル大 (The Institute of Industrial Policy Studies) でセミ ナー発表	8.10.15 } 8.10.18	"
"	教授	井川 一宏	タイ	東アジア経済学会のコンファレンス 出席	8.10.24 } 8.10.28	"
"	"	阿部 茂行	"	East Asian Economic Association の第5回バンコク大会で論文を発表 するため	8.10.23 } 8.10.29	研修
"	助教授	プラマー マイケル ジョージ	"	"	8.10.24 } 8.10.29	"
"	"	"	アメリカ	ミシガン州立大学において継続中の 共同プロジェクト (阿部・プラマー・ クレイニンによる経済協力プロジェ クト) に関してデータ並びにモデル 作成を前進させること	8.10.30 } 8.11.11	"
共同研究 開発 センター	"	脇内 成昭	"	機能性オリゴ糖合成酵素系に関する 研究	8.10.1 } 8.12.30	出張



◇平成8年度科学研究費補助金（追加採択分）の交付内定

このたび、文部省から平成8年度科学研究費補助金（追加採択分）の交付内定がありました。補助金の交付が内定した研究課題等は次のとおりです。

研究課題名	研究代表者		交付内定額 (千円)	備考
	所属部局 職名	氏名		

基盤研究（A）（1）

バイオセンサーによる概日リズムのリアルタイムモニタリング装置	医学部 教授	岡村 均	10,800	9年度 4,000 10年度 3,600
消化器癌に発現するチロシンホスファターゼSAP-1の基礎的研究並びにその臨床応用	医学部 附属病院 助手	的崎 尚	8,900	9年度 2,800
合計	2 件		19,700	

基盤研究（B）（2）

銅スピネル硫化物超伝導体における強相関電子物性のNMRによる研究	理学部 教授	和田 信二	3,500	9年度 1,800 10年度 500
磁場を用いた in vitro 再構成運動系における超微小張力の制御実験	理学部 教授	土屋 禎三	3,200	9年度 500
難燃性繊維混用製品の高熱環境における安全性について	発達科学部 教授	岩崎 錦	3,300	
蛋白質リン酸化酵素PKNの構造と機能に関する研究	理学部 教授	小野 功貴	4,500	9年度 2,100
合計	4 件		14,500	

基盤研究（C）（2）

近似的同一性の検定を実際のデータに適用するための研究	発達科学部 講師	稲葉 太一	1,600	
トリピリウムイオンの求電子性を利用した新規縮環π電子系化合物の合成	理学部 教授	山村 公明	1,600	9年度 500
油水界面イオン移動における共抽出水分子の役割	理学部 助教授	大塚 利行	2,100	
培養ヒト神経細胞の分化誘導に関する神経栄養因子と一酸化窒素の働きについて	医学部 附属病院 助手	近藤 威	1,000	9年度 900
合計	4 件		6,300	

◇平成8年9月卒業生数調

学部名	学位 (専攻分野の名称)	卒業生数			卒業年月日
		男	女	計	
文学部	学士(文学)	2		2	H8. 9.30
教育学部	学士(教育学)	8	4	12	
法学部	学士(法学)	9	3	12	
法学部第二課程	学士(法学)	5	2	7	
経済学部	学士(経済学)	10	3	13	
経済学部第二課程	学士(経済学)	3	2	5	
経営学部	学士(経営学)	8		8	
	学士(商学)	3		3	
経営学部第二課程	学士(経営学)	7	1	8	
	学士(商学)	2	1	3	
理学部	学士(理学)	3		3	
工学部	学士(工学)	1		1	
農学部	学士(農学)	1		1	
計		62	16	78	

◇平成8年度前期大学院修了者数調

研究科名	学位 (専攻分野の名称)	専攻名	修了者数			修了年月日	
			男	女	計		
文学研究科	修士(文学)	社会学専攻		1	1	H8. 9.30	
		英米文学専攻	1		1		
教育学研究科	修士(教育学)	学校教育専攻	1		1		
		音楽教育専攻		1	1		
法学研究科	修士(法学)	法政策専攻	2	1	3		
	博士(法学)	私法専攻		1	1		
	博士(政治学)	公法専攻	1		1		
経営学研究科	修士(経営学)	経営学専攻	1		1		
	修士(商学)	商学専攻	1		1		
	修士(商学)	日本企業経営専攻	1		1		
	博士(経営学)	会計学専攻	1		1		
	修士(理学)	化学専攻	1		1		
	修士(工学)	機械工学専攻	1		1		
	自然科学研究科	博士(学術)	生産科学専攻	1			1
資源生物学専攻			1		1		
システム科学専攻			1		1		
博士(理学)		資源生物学専攻	1		1		
		システム科学専攻	1		1		
博士(工学)	知能科学専攻	1		1			
国際協力研究科	修士(経済学)	国際開発政策専攻		2	2		
	修士(政治学)	国際協力政策専攻		1	1		
医学研究科	博士(医学)	病理学系	1		1	H8. 5.31	
		内科学系		1		1	H8. 7.31
				1		1	H8. 8.31
					2	2	H8. 9.30
		外科学系	1		1	H8. 7.31	
計		1		1	H8. 9.30		
計			23	9	32		

◇平成9年度大学院入学試験合格者数調

◎修士課程・博士課程前期課程

研究科名	専攻名	募集人員	合格者数					
			男	女	計			
文学研究科 (第I期)	哲学専攻	8						
	芸術学芸術史専攻	4	2		2			
	社会学専攻	6	2		2			
	史学専攻	14	2	2	4			
	国文学専攻	8	1	3	4			
	英米文学専攻	10	1	4	5			
	計	50	8	9	17			
	法学研究科	私法専攻(研究者コース)	21	△2	2	△2	2	
	公法専攻(研究者コース)	15	△1	3	△1	3		
	私法・公法専攻(総合研究コース)	*	10	12	22			
	法政策専攻	28	23	6	29			
	計	64	△3	38	△1	18	△4	56
経済学研究科	経済学・経済政策専攻(本科コース)	30	14	2	16			
	国際政策専攻(本科コース)	13	2		2			
	計	43	16	2	18			
経営学研究科	経営学専攻	63	27	7	34			
	会計学専攻							
	商学専攻							
	日本企業経営専攻							
	計	63	27	7	34			
自然科学研究科	数学専攻	15	19	3	22			
	物理学専攻	15	28	2	30			
	化学専攻	15	22	7	29			
	生物学専攻	20	14	△1	7	△1	21	
	地球惑星科学専攻	18	△1	21	5	△1	26	
	建設学専攻	建築学コース	47	42	△3	7	△3	49
		土木工学コース	32	△1	29	1	△1	30
	電気電子工学専攻	49	54			54		
	機械工学専攻	49	△2	70		△2	70	
	応用化学専攻	47	△1	58	5	△1	63	
	情報知能工学専攻	58	△1	54	3	△1	57	
	応用動物学専攻	17	10	6	16			
	植物資源学専攻	25	10	10	20			
	生物環境制御学専攻	15	13	△1	16	△1	29	
	生物機能化学専攻	15	△1	13	3	△1	16	
生産環境情報学専攻	12	8		8				
計	449	△7	465	△5	75	△12	540	
国際協力研究科	国際開発政策専攻	24	△2	15	7	△2	22	
	国際協力政策専攻	22	△3	13	△1	8	△4	21
	地域協力政策専攻	18	8	11	19			
	計	64	△5	36	△1	26	△6	62
合計	733	△15	590	△7	137	△22	727	

△印は、外国人留学生を外数で示す。

文学研究科については第I期の合格者数である。

法学研究科の私法専攻及び公法専攻の研究者コースの募集人員には総合研究コースの募集人員も含んでいる。

◎博士課程後期課程

研究科名	専攻名	募集人員	合格者数					
			男	女	計			
自然科学研究科	物質科学専攻	10	△1	9	△2	1	△3	10
	生産科学専攻	12	8	△1	△1	8		
	資源生物学専攻	9	△2	3	△1	2	△3	5
	環境科学専攻	9	△2	12	2	△2	14	
	システム科学専攻	8	△1	3	△1	3		
	知能科学専攻	8	6	6				
	生命機能科学専攻	13	△1	8	2	△1	10	
合計	69	△7	49	△4	7	△11	56	

△印は、外国人留学生を外数で示す。

掲 示 板

◇スキー用具の貸出し

下記のとおり用意していますので使用希望の職員は、人事課福祉掛へお申し込みください。

• スキー板	160cm	6本
	163cm	5本
	165cm	5本
	170cm	12本
	173cm	3本
	175cm	5本
	177cm	3本
	180cm	5本
	184cm	2本
	185cm	4本

• スキー靴	23.0cm	4足
	23.5cm	6足
	24.0cm	6足
	24.5cm	6足
	25.0cm	6足
	25.5cm	6足
	26.0cm	6足
	26.5cm	4足
	27.0cm	4足
	27.5cm	2足
	28.0cm	1足

• ストック、スキーケース、リュック

—人事課—

◇職員の住所変更等

* 住所変更

P.76

P.82

P.82

P.83

P.88

P.89

P.91

P.92

◇日 誌

(平成8年10月)

- 10月7日(月) 補導協議会
 9日(水) 留学生センター予備教育後期開講式
 14日(月) ~25日(金)
 学内人事事務監査
 17日(木) 部局長会議
 入学試験委員会
 22日(火) 事務連絡会議
 23日(水) 留学生新入学生(秋期)オリエンテーション
 24日(木) 評議会
 26日(土) 公開講座閉講式
 29日(火) 生涯生活設計セミナー

◇訂 正

学報 No	頁		誤	正
481	524	総合情報処理センター センター長	上田完治	上田完次

神戸大学100年史編集室だより

—歴史のひとこま—

前身校の歴史—神戸高等商業学校における課外活動について(その28)—
卓球クラブから正式の部に独立した記念すべき大正15年度の卓球部の奮闘精神の記録の跡を見よう。

同年5月30日に大阪朝日新聞社で開催された全国専門学校卓球聯盟戦に出場し、出場校8校中第3位の成績をあげている。その後、京都帝国大学の主催で行われた全国高等専門学校卓球優勝大会に出場している。この大会は、神戸高商卓球部にとって、「我等の最も望む栄ある」大会であり、そのために卓球部のメンバーは、大会に先立ち10日間の合宿による猛練習でもって十分な自信をつけて出場したのである。

この大会には、全国から16校が出場し、神戸高商卓球部は、「奮闘に奮闘を重ねて遂にベストフオアに残り」、4校によるリーグ戦が行われたのである。リーグ戦に出場した4校は、東京医学専門学校・第六高等学校・大阪高等学校そして神戸高等商業学校である。決勝リーグ戦の結果は下のとおりである。

(勝)	(敗)	(勝)	(敗)
東京医専	— 大阪高校	六 高	— 東京医専
東京医専	— 神戸高商	神戸高商	— 六 高
六 高	— 大阪高校	大阪高校	— 神戸高商

リーグ戦では、最終的には優勝する第六高等学校チームを破ったのであるが、東京医学専門学校チームとの対戦に敗れ、病気に犯される選手が出たために大阪高等学校戦には棄権の止むなきに至り、遂に第4位という結果であった。因みに決勝戦は、ともに2勝1敗という成績で、第六高校と東京医専の両チームで行われ、結局第六高校の優

勝で大会は閉幕した。

同年の11月29日には、大日本卓球協会の主催で、大阪の扇町商業学校で行われた全関西高等専門学校卓球大会に出場している。この大会は神戸高商卓球部にとって永久に忘れることの出来ない大会となった。すなわち、「長い長い間希望してやまなかつた独立のなりし意義深い此の大正十五年の年を最後の優勝を以て」飾ることができたからである。

対戦相手と、その成績は以下のとおりである。

第1回戦	対 関西大学	3 — 1
第2回戦	対 関西学院	3 — 1
第3回戦	対 大阪高校	3 — 1
優勝戦	対 広島高校	3 — 1

団体戦の優勝とともに、個人戦においても森永選手が優勝戦にまで残って、神戸高商卓球部の意気を示したのである。

神戸高商卓球部にとって記念すべきこの大正15年には、もう一つ重要な出来事があった。それは、神戸高商の主催で行われた第2回全国中等学校卓球大会である。この大会は、大正15年の秋に開催され、出場校は19校であった。大会の様子を当時の記録によってみると、「霜深い早朝七時に森永主将の開会の辞に始められた大会は決戦に決戦を重ねた末最後の栄冠は遂に再び奈良商業の手に、又個人優勝は奈良商業の好漢藤村の手に、かくてかくかくたる電球の下に栄ある大優勝旗及び銀の大トロフィが田中副部長より渡され大会の終りを告げたのは肌寒い九時過ぎであった」。

このように神戸高商主催による全国中等学校大会は、この卓球の他にもさまざまなスポーツで行われており、中等レベルにおけるスポーツの振興・普及にとって大きな意味をもつものであった。